

平成 29 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	公益財団法人公害地域再生センター
活動テーマ	水害多発地域における子育て層を対象にした防災教材の開発



今回は、小さな子どもがいる子育て層をターゲットにして防災教材を作成しました。災害時には、子どもは被害に遭いやすく、大人以上に困難を生じることが予想され、防災教育に対するニーズは高いものと思われませんが、小さな子どもと共に地域の防災訓練などに参加することは困難です。また、近年建設されたマンションに移り住んできた住民は、西淀川が水害をはじめとした災害に弱い地域であることを把握していないことが多く、従来のコミュニティとのつながりがありません。そのため、子育て層を対象とした防災教材を作成する意義は大きいと思われます。

この活動では、防災カフェの講師、小学校での出前授業、「にしよどがわ親子防災手帳」の作成を行いました。本活動の防災教育では、災害に関する知識を増やすだけでなく、自分の生活にどのような影響を与えるのかまでを想像する力を育むことができるような工夫を行いました。「にしよどがわ親子防災手帳」では、災害時の状況を具体的にシミュレーションできるように、南海トラフ大地震が発生したらどのようなことが起こりうるのか、またそれに伴って生活にどのようなことが起こりうるのかを書き込めるシートを作成しています。また、子どもと一緒に楽しみながら防災を学べるように、区内の災害の跡を紹介するページ、防災キャンプ・ピクニックのすすめのページもあります。今回作成した防災教材は、明るく親しみやすいイラストを多用し、防災に対する心理的なハードルを下げ、気軽に取り組んでみようという意識を喚起することを目的としています。子育て支援を行っている NPO から、「にしよどがわ親子防災手帳」を元に、若いお母さん方に防災の話をする際に使いやすいとの意見をもらっています。